



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日

上場会社名 株式会社ブイキューブ 上場取引所 東
 コード番号 3681 URL http://jp.vcube.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間下 直晃
 問合せ先責任者 (役職名) CFO 経営企画本部長 (氏名) 山本 一輝 TEL 03 (5475) 7250
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	4,528	△18.3	△166	—	△195	—	481	4,562.5
2018年12月期第3四半期	5,540	12.9	157	—	81	—	10	—

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 400百万円 (—%) 2018年12月期第3四半期 △32百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	19.96	19.71
2018年12月期第3四半期	0.43	0.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	8,249	3,394	40.9	140.43
2018年12月期	10,585	4,530	35.0	153.23

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 3,372百万円 2018年12月期 3,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	—	—	—	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,550	△17.7	0	—	△62	—	372	△18.4	15.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（テレキューブ株式会社）
除外 2社（アイスタディ株式会社、PT. V-CUBE INDONESIA）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 - ② ①以外の会計方針の変更：有
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	24,199,800株	2018年12月期	24,184,600株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	184,800株	2018年12月期	16,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	24,112,984株	2018年12月期3Q	24,066,177株

（注）自己株式に含めている従業員持株会信託口が保有する当社株式数は、2019年12月期第3四半期末は7,100株、2018年12月期末は16,600株であります。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 4「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	5,540,306	4,528,915	△1,011,391	△18.3%
営業利益	157,142	△166,002	△323,144	—
経常利益	81,038	△195,551	△276,589	—
親会社帰属四半期純利益	10,325	481,406	471,081	4,562.5%

当第3四半期連結累計期間において、売上高は、前年同期比で18.3%減少いたしました。これは、前連結会計年度の電子黒板サービス事業の売却及び、連結子会社であったアイスタディ株式会社（以下「アイスタディ」という。）の株式売却により、同社を第2四半期連結会計期間より連結範囲から除外したことが主な要因です。また、「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日）を適用したことにより、従前の会計基準を適用した場合と比べて、当第3四半期連結累計期間の売上高が184,464千円減少しております。

主力であるビジュアルコミュニケーション事業の「V-CUBE」各サービスが堅調に推移し、また、アプライアンス事業の「テレキューブ」「V-CUBE BOX」等が伸長したものの、一方で、上述の会計方針の変更や一時的なロイヤルティ費用の計上の影響により当第3四半期連結累計期間において営業損失を計上しました。

営業外損益においては、有利子負債のリストラチャリングを目的としたシンジケートローンの組成により支払手数料を計上した一方で、グループ内の資金取引の再構築による為替エクスポージャーの縮小により、為替差益11,539千円（前年同期は為替差損32,669千円）を計上しました。

特別損益においては、中国自動車企業向けサービスのソフトウェアの減損損失を計上したものの、アイスタディをはじめとする子会社の株式売却により、特別損失額を上回る子会社株式売却益を計上しました。なお、PT.V-cube Indonesia株式売却に伴い、同社に対する債権を整理したことにより、債権売却損141,746千円を計上しております。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、経営管理体制の強化と経営資源のより最適な配分を実施すること及び事業内容を明瞭に表現する目的で、報告セグメントの区分をビジュアルコミュニケーションサービス事業の単一セグメントから「ビジュアルコミュニケーション事業」、「ラーニングマネジメントシステム事業」、「アプライアンス事業」の3区分に変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

I. ビジュアルコミュニケーション事業

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	3,038,808	2,929,907	△108,901	△3.6%
セグメント利益	404,831	139,254	△265,577	△65.6%

主力のWeb会議サービス「V-CUBE ミーティング」やWebセミナー配信サービス「V-CUBE セミナー」をはじめとする「V-CUBE」各サービスについて、「クラウド」型、「オンプレミス」型による提供をしております。

当第3四半期連結累計期間では、主力の「V-CUBE」各サービスが堅調に推移し、また、製薬業界を中心としたセミナー配信ビジネスが増加したものの、会計方針の変更により従来の方法に比べて売上高およびセグメント利益が

116,202千円減少した他、一時的なロイヤルティの費用計上により前年同四半期連結累計期間よりセグメント利益は減少しました。

II. ラーニングマネジメントシステム事業

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	1,280,272	812,133	△468,139	△36.6%
セグメント利益	20,690	△35,443	△56,133	—

シンガポール子会社Wizlearn Technologies Pte. Ltd. が、学習管理システム「ASKnLearn」を主にASEANの学校・企業向けに提供しております。

当第3四半期連結累計期間では、第2四半期連結会計期間初にアイスタディが株式売却により連結除外となった他、シンガポールにおける主力市場が学校向け市場から企業向け市場へシフトする端境期にあることから、前年同四半期連結累計期間より売上高は前年比で36.6%減少しました。また、主にアイスタディの第1四半期連結会計期間の季節性に起因する収益性の悪化により、35,443千円のセグメント損失を計上しました。

III. アプライアンス事業

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	1,221,224	786,874	△434,350	△35.6%
セグメント利益	33,252	86,326	53,074	159.6%

テレビ会議システム「V-CUBE BOX」や防音型コミュニケーションブース「テレキューブ」、ディスカッションテーブル「V-CUBE Board」のほか、ビジュアルコミュニケーションに関わるハードウェア（ウェブカメラ、ヘッドセット、エコーキャンセラー付きマイク、大型液晶ディスプレイ等）の販売を行いました。

当第3四半期連結累計期間では、会計方針の変更により従来の方法に比べて売上高が66,560千円およびセグメント利益が38,237千円減少しました。また、前連結会計年度末において電子黒板サービス事業を売却した影響から、前年同四半期連結累計期間より売上高は801,231千円減少しましたが、収益性は大幅に改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結累計期間	増減
資産	10,585,157	8,249,193	△2,335,964
負債	6,055,045	4,854,769	△1,200,276
純資産	4,530,111	3,394,424	△1,135,687

①資産

第2四半期連結会計期間におけるアイスタディの売却による連結除外により、現金及び預金の他、主に売掛金や前渡金等の運転資本、のれんが減少しました。また、中国自動車企業向けサービスのソフトウェアの減損処理によりソフトウェアの残高が減少しました。他方、有利子負債の削減を進めたことにより現金及び預金の残高も減少したものの、資産効率の改善に寄与しています。

②負債

資産の状況と同様に、アイスタディの売却による連結除外により、買掛金等の運転資本が減少しました。また、上述の電子黒板サービス事業およびアイスタディの売却資金の活用ならびにシンジケートローンの実行により、有利子負債のリストラクチャリングとともに削減を実施しました。

③純資産

収益認識基準の変更の影響により期首利益剰余金が減少したものの、一連の子会社株式の売却益の計上により、自己資本比率は40.9%（前連結会計年度末は35.0%）となりました。また、アイスタディの売却による連結除外による非支配株主持分の減少により、純資産は前連結会計年度末より減少しました。

なお、減資の実行により、欠損填補による財務基盤の安定化を図るとともに、将来の機動的な資本政策を実行することが可能になりました。この結果、一連の事業売却を踏まえた株主還元策として、自己株式の取得を実施しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の通期連結業績予想につきましては、2019年10月25日公表の連結業績予想から変更しておりません。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,732,368	1,782,824
受取手形及び売掛金	1,493,193	941,349
前渡金	424,570	229,493
その他	409,838	430,685
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	5,059,770	3,384,152
固定資産		
有形固定資産	162,423	299,248
無形固定資産		
ソフトウェア	2,267,347	1,824,772
ソフトウェア仮勘定	240,113	226,781
のれん	1,111,402	867,627
その他	4,300	62
無形固定資産合計	3,623,164	2,919,243
投資その他の資産	1,739,799	1,646,548
固定資産合計	5,525,386	4,865,041
資産合計	10,585,157	8,249,193
負債の部		
流動負債		
買掛金	746,739	271,556
短期借入金	1,183,329	640,000
1年内返済予定の長期借入金	632,309	592,640
前受金	560,981	902,603
賞与引当金	115,848	70,411
未払法人税等	149,689	—
その他	632,502	415,802
流動負債合計	4,021,398	2,893,014
固定負債		
長期借入金	2,003,313	1,908,800
その他	30,333	52,954
固定負債合計	2,033,647	1,961,754
負債合計	6,055,045	4,854,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,451,291	31,710
資本剰余金	2,695,522	2,771,354
利益剰余金	△2,437,172	730,237
自己株式	△15,651	△106,673
株主資本合計	3,693,989	3,426,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	30,029
為替換算調整勘定	9,381	△84,290
その他の包括利益累計額合計	9,381	△54,261
新株予約権	2,662	2,662
非支配株主持分	824,078	19,394
純資産合計	4,530,111	3,394,424
負債純資産合計	10,585,157	8,249,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,540,306	4,528,915
売上原価	3,115,723	2,919,347
売上総利益	2,424,583	1,609,568
販売費及び一般管理費	2,267,440	1,775,570
営業利益又は営業損失(△)	157,142	△166,002
営業外収益		
受取利息	9,681	7,069
為替差益	—	11,539
受取保険金	1,070	690
助成金収入	11,534	7,414
受取保証料	3,189	3,189
その他	11,247	5,606
営業外収益合計	36,723	35,509
営業外費用		
支払利息	22,722	16,511
為替差損	32,669	—
支払手数料	21,914	31,824
地代家賃	31,106	5,580
その他	4,414	11,142
営業外費用合計	112,826	65,058
経常利益又は経常損失(△)	81,038	△195,551
特別利益		
固定資産売却益	36	—
子会社株式売却益	7,423	1,226,201
投資有価証券売却益	51,594	—
特別利益合計	59,053	1,226,201
特別損失		
固定資産除却損	331	2,638
減損損失	—	371,724
投資有価証券評価損	8,049	—
外部委託システム障害対応費用	27,223	—
本社移転関連費用	—	7,232
債権売却損	—	141,746
その他	3,010	686
特別損失合計	38,614	524,028
税金等調整前四半期純利益	101,478	506,621
法人税、住民税及び事業税	36,251	5,879
法人税等調整額	34,581	29,975
法人税等合計	70,832	35,854
四半期純利益	30,645	470,767
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	20,319	△10,639
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,325	481,406

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	30,645	470,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	23,087
為替換算調整勘定	△63,363	△93,671
その他の包括利益合計	△63,363	△70,584
四半期包括利益	△32,717	400,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△53,197	410,499
非支配株主に係る四半期包括利益	20,479	△10,317

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、欠損補填による財務体質の健全化を図るとともに、株主還元を含む今後の資本政策の機動性を確保することを目的として、2019年3月28日開催の第19期定時株主総会において資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を決議し、2019年5月17日付でその効力が発生しました。これに伴い、資本金が3,421,291千円減少し、資本剰余金が74,122千円、利益剰余金が3,347,168千円それぞれ増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が31,710千円、資本剰余金が2,771,354千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジュアルコ ミュニケーシ ョン事業	ラーニングマ ネジメントシ ステム事業	アプライア ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,038,808	1,280,272	1,221,224	5,540,306	—	5,540,306
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,038,808	1,280,272	1,221,224	5,540,306	—	5,540,306
セグメント利益又は 損失(△)	404,831	20,690	33,252	458,774	△301,632	157,142

(注) 1. セグメント利益の調整額△301,632千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジュアルコ ミュニケーシ ョン事業	ラーニングマ ネジメントシ ステム事業	アプライア ンス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,929,907	812,133	786,874	4,528,915	—	4,528,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,929,907	812,133	786,874	4,528,915	—	4,528,915
セグメント利益又は 損失(△)	139,254	△35,443	86,326	190,136	△356,139	△166,002

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△356,139千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	ビジュアルコ ミュニケーシ ョン事業	ラーニングマ ネジメントシ ステム事業	アプライア ンス事業	全社・消去	合計
減損損失	371,724	—	—	—	371,724

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 第1四半期連結会計期間より、経営資源のより最適な配分を実施する目的で経営管理体制を整備したことにより、ビジュアルコミュニケーションサービス事業の単一セグメントから「ビジュアルコミュニケーション事業」、「ラーニングマネジメントシステム事業」、「アプライアンス事業」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

- (2) 会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「ビジュアルコミュニケーション事業」の売上高が116,202千円減少、セグメント利益が116,202千円減少し、「ラーニングマネジメントシステム事業」の売上高が1,702千円減少、セグメント利益が1,702千円減少し、「アプライアンス事業」の売上高が66,560千円減少、セグメント利益が38,237千円減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。